

# 子どもの笑顔とともに

香川県教育委員会

学校では、さまざまな人権・同和教育の取組を通して、子どもも教職員も人権感覚を磨いています。この資料を通じて、学校で実践されている人権・同和教育について理解と認識を深めていただき、ご家庭でも、人権について話し合う場をつくるなど、人権意識を高めていただくようご協力をお願いいたします。



【人権教育がめざす子どものすがた】

**「自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動」ができる子**



自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする

**意識・意欲・態度**



人権に関する知的理解

人権感覚

## 知識的側面

- ・「人権、差別、偏見とは何か」などの概念の理解
- ・人権に関する歴史や現状に関する知識
- ・自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識
- ・主要な条約や法令等に関する知識 など

## 価値的・態度的側面

- ・自分や他者の価値についての肯定的態度
- ・人権を尊重しようとする意欲や態度
- ・正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度 など

## 技能的側面

- ・互いの相違を認め受容するための技能
- ・想像力や感受性
- ・コミュニケーション技能
- ・差別を見抜く技能
- ・他の人と豊かな関係を築くことのできる社会的技能 など



**人権が尊重されている教育の場としての学校・学級**

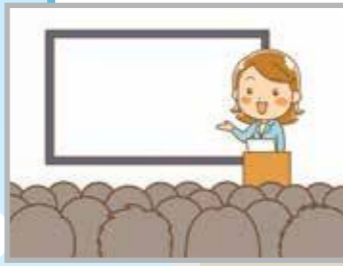
「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」より作成

香川県では、同和教育がこれまで積み上げてきた成果を生かしながら、さまざまな人権課題の解決をめざす教育を人権・同和教育と定めています。

# 学校における実践例

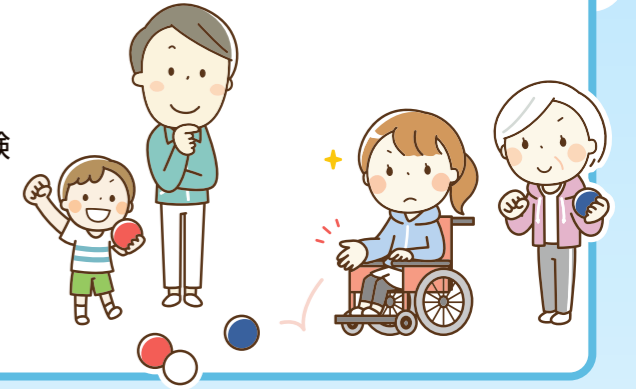
## ● 差別をなくそうとする生き方 (ロールモデル) から学ぶ

- 講演会
- 人権集会
- 芸術鑑賞
- キャリア教育
- パラスポーツ体験 など



## ● 体験活動をととして、さまざまな人と出会い、他者を理解する

- 介助犬について
- 点字体験
- 高齢者疑似体験
- 車いす体験
- パラスポーツ体験
- 手話体験
- 白杖体験
- 平和学習 など



## ● 自尊感情を高める ● ちがいを認める

- ありがとうの木
- いいところみつけ
- 異学年交流
- 縦割り活動
- クラスミーティング
- みんな遊び
- 委員会活動
- クラブ活動 など



清掃の時間

朝の会・帰りの会

給食の時間

# “だれもが幸せな社会”をつくる

「差別はなくせる」という明るい展望をもち、「差別をしない」だけでなく、「差別をなくす」ための行動を選択し実践行動をする子

## ● 人権が尊重された学校づくりのための環境を整える

- おすすめの本
- 人権コーナー
- あいさつ運動
- 保護者との連携
- 地域との連携
- 他校種との連携
- 施設のバリアフリー化 など



## ● 知識をもつ ● 差別が存在し続ける社会構造を知る

- 子どもの権利条約
- 人権に関する歴史・法律
- 平和学習
- 講演会 など



各教科の時間

学校行事

休み時間

人権学習では参加体験型学習が有効であるといわれています。学校では、さまざまな場面で参加体験型学習を取り入れ、人権意識を高めていきます。

参加体験型学習…子どもが主体的に取り組み、互いの気づきや考え方を表現、共有しながら進める学習

## ● 個別人権課題に学ぶ

- 子ども
- 女性
- 高齢者
- 障がい者
- 同和問題
- 外国人
- アイヌの人々
- 性的少数者
- インターネットによる人権侵害
- ハンセン病問題 (香川県には国立療養所大島青松園があります) など



# 大切にしたい大人の人権感覚

子どもは大人表情やしぐさ、言葉かけに大変敏感です。大人の言動が、子どもの心を傷つけたり、子どもの心に偏見や差別意識をうつけたりしてしまうこともあります。裏を返せば、大人が正しい知識を身につけたり、自身の言動を意識したりすることで、子どもたちの人権意識はさらに高まっていくのではないのでしょうか？



## 正しい知識を身につけよう！

例えば…インターネットによる人権侵害。インターネットは、パソコンやスマートフォン、タブレット端末などを使って簡単に利用できます。そして、自分の知りたい情報を集めたり、さまざまな人々と情報交換や交流したりできるなど、私たちの生活を便利で豊かにしてくれるツールです。しかし、モラルやマナーの欠如などによって使い方を間違えると、インターネット上で人権侵害が発生したり、社会的にも大きな影響を及ぼしたりする場合があります。使い方次第で、誰もが「被害者」にも「加害者」にもなる可能性があるということです。メディアリテラシーを学ぶことが大切です。

他にも、日本にはさまざまな人権課題があります。

- 子どもの人権
- 女性の人権
- 高齢者の人権
- 障がい者の人権
- 同和問題
- 外国人の人権
- 性的少数者の人権
- ハンセン病問題 など



法務省のホームページには、それぞれの人権課題についての啓発動画やリーフレット（右上）などがあり、詳しく学ぶことができます。正しい知識を身につけたり、アップデートしたりすることも、人権感覚を磨くことにつながります。

右の二次元コードから さっそくチェック！！



(法務省HP 啓発活動)

## 普段の言動を振り返ろう！

このようなことを思い込んだり、こんな言葉を言ってしまったりすることも…

仕事は男性、家事や育児は女性がするもの

A型だから 几帳面だよ！

▶アンコンシャス・バイアス  
「無意識の思い込み・偏見」と訳されます。誰にでもあるもので、これまでの自分の経験から、相手のことを考えずに、自分なりに解釈してしまうことを意味します。

ブラジル出身！じゃあサッカー得意だよ！

これって差別だよ…

差別なんてないよ 気にしすぎだよ！

▶マイクロアグレッション  
「(正当な理由のない) 小さな攻撃」と訳されます。表現する側に自覚はないものの、受け取る側が攻撃されたと感じる言動です。

人権に配慮した言葉を使うことが、自分や周りの人の安心につながります。

子どもとともに、気づき、考え、行動していきましょう！  
未来ある子どもたちに、笑顔があふれるように！



香川県教育委員会事務局人権・同和教育課

〒760-8582 香川県高松市天神前6番1号 TEL:(087) 832-3780